

受検・不受検 技能実習生名簿

(技能検定等 **基礎** 級 / **■**現行制度受検者・**■**旧制度受検者・**□**算入対象者なし)

番号	氏名	性別	生年月日	試験名 (職種・作業を含む)	合否・不受検区分	やむを得ない不受検者の 技能実習計画認定番号
		国籍 (国又は地域)		合格年月日		技能実習実施困難時届出年月日
1	○○○ ○○○ (技能実習終了年月：○○○○年○○月)	■男・□女	△△△△年△△月△△日	○○○○○ (□旧制度)	□合格 (□全部・□学科・□実技) ■不合格 □不受検	年 月 日
		○○○○		△△△△年△△月△△日		
2	○○○○ ○○○○○ (技能実習終了年月：○○○○年○○月)	■男・□女	△△△△年△△月△△日	(□旧制度)	■合格 (■全部・□学科・□実技) □不合格 □不受検	年 月 日
		○○○○		△△△△年△△月△△日		
3	○○○○ ○○○ (技能実習終了年月：○○○○年○○月)	□男・■女	△△△△年△△月△△日	(□旧制度)	■合格 (■全部・□学科・□実技) □不合格 □不受検	年 月 日
		○○		△△△△年△△月△△日		
4	○○○○○ ○○○ (技能実習終了年月：○○○○年○○月)	■男・□女	△△△△年△△月△△日	(■旧制度)	■合格 (■全部・□学科・□実技) □不合格 □不受検	年 月 日
		○○		△△△△年△△月△△日		
5	○○○ ○○○○○ (技能実習終了年月：○○○○年○○月)	□男・■女	△△△△年△△月△△日	(□旧制度)	□合格 (□全部・□学科・□実技) □不合格 ■不受検	認○○××□□□□□
		○○		年 月 日		△△△△年△△月△△日
	(技能実習終了年月： 年 月)	□男・□女	年 月 日	(□旧制度)	□合格 (□全部・□学科・□実技) □不合格 □不受検	年 月 日
				年 月 日		

(注意)

- 1 本名簿は、受検級ごとに記載すること。また、旧制度の者の場合には、「試験名」欄の「旧制度」を選択すること。
- 2 合否・不受検区分には、いずれか一つを選択すること。
- 3 技能検定等の合格時に実習実施者が受け入れていた技能実習生のみが記載対象となることに留意すること。
- 4 不受検者として記載できる技能実習生は、病気や怪我、実習意欲の喪失やホームシック、行方不明、本国の家族の都合、監理団体許可の取り消し、監理団体の事業上の理由などの実習実施者の責めによらない理由により技能実習を行うことができない場合や、受検に必要な設備を具備する実施機関を見つけられず結果として不受検となった者である。
- 5 点数表「Ⅱ」の欄の計算式の分母の算入対象となる技能実習生がない場合は、「算入対象者なし」を選択し、過去3技能実習事業年度には2号未修了であった者であって、申請日までに3級程度の技能検定等の実技試験に合格した者について記載すること。

受 検 ・ 不 受 検 技 能 実 習 生 名 簿

(技能検定等 3 級 / ■現行制度受検者・□旧制度受検者・■算入対象者なし)

番号	氏名	性別	生年月日	試験名 (職種・作業を含む)	合否・不受検区分	やむを得ない不受検者の 技能実習計画認定番号
		国籍 (国又は地域)		合格年月日		技能実習実施困難時届出年月日
1	○○○○ ○○○○○ (技能実習終了年月:○○○○年○○月)	■ 男・ □ 女	△△△△年△△月△△日	○○○○○ (□ 旧制度)	■ 合格 (■ 全部・ □ 学科・ □ 実技) □ 不合格 □ 不受検	年 月 日
		○○		△△△△年△△月△△日		年 月 日
2	○○○○ ○○○○○ (技能実習終了年月:○○○○年○○月)	■ 男・ □ 女	△△△△年△△月△△日	○○○○○ (□ 旧制度)	■ 合格 (■ 全部・ □ 学科・ □ 実技) □ 不合格 □ 不受検	年 月 日
		○○		△△△△年△△月△△日		年 月 日
3	○○○○○ ○○○ (技能実習終了年月:○○○○年○○月)	■ 男・ □ 女	△△△△年△△月△△日	○○○○○ (□ 旧制度)	■ 合格 (□ 全部・ □ 学科・ ■ 実技) □ 不合格 □ 不受検	年 月 日
		○○○○		△△△△年△△月△△日		年 月 日
	(技能実習終	<p>● 「過去3技能実習事業年度の2・3級程度の技能検定等の実技試験の合格率」について、 計算式の分母 (参考様式第1-24号の項目「1 II①」を参照) の算入対象となる技能実習生がない場合は、 本様式の「算入対象者なし」を選択し、過去3技能実習事業年度には2号未修了であった者であって、 申請日までに3級程度の技能検定等の実技試験に合格した者について記載してください。</p>				年 月 日
(技能実習終	年 月 日					
(技能実習終了年月: 年 月)	年 月 日					

(注意)

- 1 本名簿は、受検級ごとに記載すること。また、旧制度の者の場合には、「試験名」欄の「旧制度」を選択すること。
- 2 合否・不受検区分には、いずれか一つを選択すること。
- 3 技能検定等の合格時に実習実施者が受け入れていた技能実習生のみが記載対象となることに留意すること。
- 4 不受検者として記載できる技能実習生は、病気や怪我、実習意欲の喪失やホームシック、行方不明、本国の家族の都合、監理団体許可の取り消し、監理団体の事業上の理由などの実習実施者の責めによらない理由により技能実習を行うことができない場合や、受検に必要な設備を具備する実施機関を見つけられず結果として不受検となった者である。
- 5 点数表「II」の欄の計算式の分母の算入対象となる技能実習生がない場合は、「算入対象者なし」を選択し、過去3技能実習事業年度には2号未修了であった者であって、申請日までに3級程度の技能検定等の実技試験に合格した者について記載すること。